

水源の森づくり交流会

木屋川の水を守る森づくり交流会を開催

分類：新着ニュース, 林業

登録日：平成 28 年 11 月 25 日 | 下関農林事務所森林部

平成28年11月16日(水)に、木屋川の水を利用する下関市の利水企業の皆さんと地元住民が一緒になって「木屋川の水を守る森づくり交流会」(主催:長門農林事務所、下関農林事務所)を、長門市俵山の能満寺の社寺有林で開催しました。

この交流会は、水源かん養機能など森林の多面的な機能を維持・増進させるために、下流域の利水企業関係者と上流域の森林・林業関係者が連携して、毎年この時期に森づくり活動を行うものです。

今年の交流会は、秋晴れの天候に恵まれ、企業関係者と地元住民80名が、樹齢30年のヒノキ林の枝打ち作業に汗を流しました。俵山地区にはニホンジカが多数生息し、造林木に角擦りを行うため、木材として利用できなくなる被害が発生しています。森づくりを行った能満寺山でも、シカの角擦りが多く見られることから、参加者にはシカの角擦り被害を防止する対策として、バークガードの設置と枝条巻き付け作業も行いました。

川上と川下の関係者が一緒になって、シカ被害対策と森づくり作業を行い、地元の森林所有者にとって大きな励みになったことと思います。

作業終了後は、里山ステーション俵山に移動して、能満寺山の森林が健全な森林かどうかを診断する「森の健康診断」などの学習会を行いました。



シカ対策の枝条巻き付け作業



参加者全員で記念撮影

問合せ先

メール：a171074@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1182